

＜白梅学びのエリア教育目標＞ よりよい未来・主役は子ども

～ 「自立・貢献・共生・創造」、よりよい未来を切り拓く人を目指して ～



＜本校の教育目標＞ かしく・やさしく・たくましく

令和7年度

金沢小だより

10月号

令和7年9月30日

板橋区立金沢小学校

校長 神保 幸次郎

全国学力・学習状況調査の結果について

校長 神保 幸次郎

朝晩は、めっきり涼しくなり、日が暮れるのも早くなってきました。10月1日から夕焼けチャイムが午後4時30分になります。交通安全を踏まえて、お子さんと帰宅時刻などをご確認ください。

さて、4月に行われました令和7年度全国学力・学習状況調査の結果が公表されました。

今年度は国語、算数、理科の3教科が実施され、本校の平均正答率は右表のとおりです。

各教科及び児童質問の特徴は次のとおりです。

平均正答率(%)	国語	算数	理科
本 校	77	74	67
東京都	70	64	60
全 国	66.8	58.0	57.1

＜特徴＞

（国語） 問題形式は「選択式・短答式・記述式」の3点があり、記述式の正答率が低くなる傾向があります。本校の記述式の設問で無回答（回答欄が空欄）の割合が最も高いもので8.6%（無回答の本校の平均は約2%）でした。

しかし、今回の調査では正答率が最も低かったのは選択式の設問でした。その設問の出題の趣旨は「目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができるかどうかをみる。」で、学習指導要領における内容としては思考力・判断力・表現力、読むことに該当します。

設問を読んでみると、まず出題の題材となる文（資料1）があり、次にその文章を読んだ児童がさらに調べてみたいと思って読んだ2点の図書の一部が資料（資料2、3）として書かれています。その後、その児童が他の児童と話し合いをする発言内容とともにグラフ（資料4）が記されています。

資料だけでも4点、加えて児童同士の話し合い（対話）があり、設問は、対話する児童の発言の理由となる必要な情報を資料から見つけ、当てはまる内容を選ぶというものです。

実際に解いてみると、何度も資料を読み返し、発言する児童の意図を考えて、提示されて資料から最も適切なものを選ぶという、複数の情報から最適とする情報を読み解くための思考・判断を必要とする設問でした。

これらの力のことを板橋区では「読み解く力」と呼んでおり、その育成に今後も力を入れていきます。

（算数） 平均正答率が東京都の平均よりも10ポイント高い状況でした。記述式の設問で正答率が低下する傾向があり、中でも分数の計算を説明する設問で正答率が5割を下回りました。その設問は次項のとおりです。

ひろとさんたちは、分数のたし算についても、小数で考えたようにふり返っています。まず、みおりさんは、 $\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$ についてまとめています。



$\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$ は、**ものにする数**を $\frac{1}{5}$ にすると、整数のたし算を使って計算することができます。

$\frac{2}{5}$ は $\frac{1}{5}$ の 2 個分、 $\frac{1}{5}$ は $\frac{1}{5}$ の 1 個分です。
 $\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$ の計算は、 $\frac{1}{5}$ をもとにすると、 $2 + 1$ を使って考えることができます。

次に、ひろとさんは、 $\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$ について考えます。



$\frac{3}{4}$ は $\frac{1}{4}$ の 3 個分、 $\frac{2}{3}$ は $\frac{1}{3}$ の 2 個分です。
もとにする数が $\frac{1}{4}$ と $\frac{1}{3}$ でちがうので、同じ数にしたいです。

$\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$ についても、**もとにする数**を同じ数にして考えることができます。

もとにする数を同じ数にすると、その数は何になりますか。その数を 書きましょう。また、 $\frac{3}{4}$ はその数の何個分、 $\frac{2}{3}$ はその数の何個分ですか。数や言葉を使って書きましょう。

※設問は、紙面の関係上、レイアウトを変更しています。

分母が異なるため**もとにする数**を導くためには、共通する単位分数を見いだす必要があります。

4と3の最小公倍数を求め、 $\frac{1}{12}$ という**もとにする数**を導き出せるのですが、式を見て計算をするために通分まではしたが・・・という誤答が2割強という結果でした。

計算式を解くことができるだけでなく、計算に必要な算数・数学的な見方・考え方の習熟を図るとともに、計算過程を言葉で説明できる表現力を育成するために、言語活動を豊かにしていきます。

(理科) 毎年ではなく3年に1度実施され、問題形式は国語・算数と同様に選択式、短答式、記述式の3種類です。小学校理科では、「児童が自然の事物・現象に親しむ中で興味・関心をもち、そこから問題を見だし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現することや、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現すること」が求められています。

設問は、学習指導要領に示された目標及び内容などに基づき、「A物質・エネルギー」、「B生命・地球」の二つの内容区分から「エネルギー」、「粒子」、「生命」、「地球」などの科学の基本的な概念等を柱とした内容をバランスよく出題することとされています。

今回は、次のような区分・領域ごとの大設問・全17問が出題されました。大設問ごとの正答率の平均は次のとおりです。

大設問(区分・領域)	正答率の平均 (%)	
	本校	東京都
1 赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違い(地球に関する問題)	78.3	74.3
2 電気の性質を活用したものづくり(エネルギーに関する問題)	58.8	49.9
3 花のつくりや受粉、発芽の条件(生命に関する問題)	63.8	54.1
4 水について調べ、発表する(物質に関する問題)	68.1	62.2

数字だけを見れば東京都を上回る結果でしたが、問題番号1(2)「赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いをまとめたわけについて、結果を用いて書く」記述式の設問で、東京都の平均正答率を1.5ポイント下回りました。

なお、東京都の平均正答率は全国の平均正答率より0.7ポイント下回りました。

5年生までに赤玉土に関連した活動・観察が十分になされていたかを省みる結果と推察します。その理由として、大設問3「花のつくりや受粉、発芽の条件」では全4問中3問で「へちま」を題材にした設問の正答率が東京都の平均を約10ポイント上回っており、金沢小学校ではへちまを栽培して「緑のカーテン※」を毎年作っているため、へちまに触れる機会があるからです。

理科の設問以外に、理科に関する児童質問の質問番号(66)「自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問を持ったり問題を見出したりしていますか」では、肯定的回答が東京都の平均を 8.3 ポイント上回る 77.2%でした。

また、金沢小学校は、令和7年2月に東京都小学校理科教育研究会 研究発表会(東京都全体の発表)において研究主題「自然と向き合い、多様な考えを受け入れ、主体的に問題を解決する理科学習」を基に、本校の教員が研究授業を行いました。それらも踏まえた成果の表れとも捉えられます。今年度も引き続き生活科・理科教育の校内研究に取り組んでいるところです。

金沢小学校の豊かな自然環境等をさらに生かし、子どもたちが予想や仮説を立てるなどして自ら問いをもって実験・観察に取り組み、理科の楽しさを実感しながら、理科における見方・考え方が豊かになるよう授業を工夫し続けていきます。

※「緑のカーテン」は、ヘチマやゴーヤなどのツル性の植物を、窓の外に茂らせることによってできる「植物のカーテン」です。夏の強い日差しや外からの熱が和らげられ、室温の上昇を抑えることができるので、冷房の使用抑制による省エネルギー効果があります。

[\(緑のカーテンの取り組み\(板橋区ホームページより\)\)](#)

(児童質問) 生活習慣や学習環境等に関する質問調査で、令和7年度は全 71 問で行われました。質問項目は主に次の通りです。

- ・ 基本的生活習慣 ・ 挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感、幸福感 ・ 学習習慣、学習環境
- ・ 地域や社会に関わる活動の状況 ・ ICT を活用した学習状況 ・ 学級活動、特別の教科道德等
- ・ 学習に対する興味、関心や授業の理解度 (国語・算数・理科) 等

これらの中からいくつかの項目を抽出して、記載します。

肯定的回答 (%)

(質問番号)質問	本校	東京都
(5)自分には、よいところがあると思いますか	89.6	87.2
(7)将来の夢や目標を持っていますか	80.9	81.6
(8)人が困っているときは、進んで助けていますか	88.9	92.6
(9)いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	97.5	96.4
(11)人の役に立つ人間になりたいと思いますか	95.0	95.6
(12)学校に行くのは楽しいと思いますか	89.5	86.1
(16)分からないことやくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか	80.8	82.3
(24)読書は好きですか	80.8	71.0
(27)地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	82.1	79.0
(41)あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	90.1	82.9
(43)道德の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	93.2	87.4

(28)5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどの ICT 機器を、どの程度使用しましたか(%)

